

## 2009年3月期 第2四半期決算短信

2008年11月7日

上場会社名 サン電子株式会社

上場取引所 JASDAQ

コード番号 6736

URL <http://www.sun-denshi.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 吉田 喜春

問合先責任者(役職名) 取締役経理部長(氏名) 加藤 俊朗

TEL (0587) 55 - 2201

四半期報告書提出予定日 2008年11月14日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2009年3月期第2四半期の連結業績(2008年4月1日~2008年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2009年3月期第2四半期	6,740	—	559	—	598	—	408	—
2008年3月期第2四半期	4,280	△19.8	73	△74.9	181	△42.6	131	△14.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2009年3月期第2四半期	38	73	—	—
2008年3月期第2四半期	12	09	12	04

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2009年3月期第2四半期	14,542	9,452	65.0	895 80
2008年3月期	14,627	9,187	62.8	870 61

(参考)自己資本 2009年3月期第2四半期 9,452百万円 2008年3月期 9,186百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2008年3月期	—	—	—	15 00	15 00
2009年3月期	—	—	—	—	—
2009年3月期(予想)	—	—	—	15 00	15 00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

### 3. 2009年3月期の連結業績予想(2008年4月1日~2009年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当 期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	13,800	( 16.2)	1,000	( 71.2)	1,100	( 81.8)	800	( 75.1)	75	81

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 0社(社名 ) 除外 1社(社名 株式会社サンコミュニケーションズ)  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
 ② ①以外の変更 : 無  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                                   |                        |               |             |
|-----------------------------------|------------------------|---------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)2009年3月期第2四半期  | 10,840,400株            | 2008年3月期      | 10,840,400株 |
| ② 期末自己株式数                         | 2009年3月期第2四半期 288,100株 | 2008年3月期      | 288,100株    |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)2009年3月期第2四半期 | 10,552,300株            | 2008年3月期第2四半期 | 10,839,084株 |

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- (2) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱や米国経済の減速、及び原油・原材料価格の高騰等の影響により、企業収益・設備投資が減少し個人消費も低迷するなど、景気の減速感が強まりました。

このような状況のなか、当社グループの主要な事業でありますパチンコ関連事業におきまして、本年7月の洞爺湖サミット開催に伴い、全国のパチンコホールは、遊技機の入替を自粛しましたが、自粛期間経過後は遊技機の入替が活性化しましたことにより、パチンコ制御基板の販売が順調に推移しました。

また、情報・通信関連事業におきまして、コンテンツ配信サービスの販売及びCellebrite社(連結子会社；イスラエル国)の業績が順調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高67億40百万円、営業利益5億59百万円、経常利益5億98百万円、四半期純利益4億8百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

## &lt;パチンコ関連事業&gt;

洞爺湖サミットの開催に伴い、パチンコホール業界団体の決定により、全国のパチンコホールは、遊技機の入替を自粛(5月31日から7月21日において自粛期間は30日以上、都道府県単位で決定。)しましたが、自粛期間経過後は遊技機の入替が活性化しましたことにより、パチンコ制御基板の販売が順調に推移しました。

この結果、売上高は40億41百万円、営業利益は7億33百万円となりました。

## &lt;情報・通信関連事業&gt;

デジタル機器の販売は、個人消費の減速等により低調に推移しましたものの、コンテンツ配信サービスの販売が着実に増加し、Cellebrite社(連結子会社；イスラエル国)におけるモバイルデータトランスファー機器の販売が順調に推移しました。

この結果、売上高は22億23百万円、営業利益は1億30百万円となりました。

## &lt;樹脂成形事業&gt;

パチンコ遊技機の樹脂成形加工品の販売が低調に推移しましたため、売上高は減少しました。

この結果、売上高は4億21百万円、営業利益は81百万円となりました。

## &lt;その他の事業&gt;

主要な製品は、金型及び家庭用ゲーム機対応のパッケージゲームソフトであります。

金型の販売が低調に推移しましたため、売上高は減少しました。

この結果、売上高は54百万円、営業損失は15百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し145億42百万円となりました。これは主に、現金及び預金が7億55百万円増加したことに対し、のれんが2億39百万円、投資有価証券が4億49百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億51百万円減少し50億89百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことから、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億65百万円増加し94億52百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は65.0%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

2009年3月期の通期の業績予想につきましては、2008年9月26日付け当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

当社グループの主要な事業でありますパチンコ関連事業は、需要変動が比較的大きな分野に属しており、四半期毎の業績は大幅に変動する傾向があります。パチンコ制御基板は、パチンコ遊技機の新機種発売は遊技機メーカーの他社動向、新機種の申請状況等に左右されます。また、パチンコホール内情報化システムは、例年、需要期が第3四半期でありますことから、上期は販売費・開発費が先行いたします。さらに、新規事業・新製品・新サービスに対する研究開発投資も積極的に推進しておりますことから、四半期毎の業績は大きく変動する傾向を有しております。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

除外：株式会社サンコミュニケーションズ

当社グループ全体の経営資源の集中と競争力向上を図ることを目的として、2008年4月1日をもって当社を存続会社とする吸収合併を行い、株式会社サンコミュニケーションズは消滅しております。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が8,794千円減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

##### (4) 追加情報

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社は、平成20年度法人税法の改正による耐用年数の変更に伴い、第1四半期連結会計期間より耐用年数の変更を行っております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ1,305千円減少しております。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：千円)	
	当第2四半期連結会計期間末 (2008年9月30日)	前連結会計年度に係る 要約連結貸借対照表 (2008年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,409,633	1,654,448
受取手形及び売掛金	3,867,479	3,876,191
有価証券	16,096	50,519
製品	752,232	658,490
原材料	368,929	378,074
仕掛品	174,092	188,936
繰延税金資産	225,804	202,616
その他	172,911	279,172
貸倒引当金	△32,981	△39,556
流動資産合計	7,954,198	7,248,894
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,295,554	1,295,554
その他	909,123	942,584
有形固定資産合計	2,204,677	2,238,138
無形固定資産		
のれん	1,957,266	2,196,904
その他	52,263	60,581
無形固定資産合計	2,009,530	2,257,485
投資その他の資産		
投資有価証券	1,623,194	2,072,794
その他	885,721	945,658
貸倒引当金	△135,047	△135,535
投資その他の資産合計	2,373,868	2,882,917
固定資産合計	6,588,075	7,378,541
資産合計	14,542,274	14,627,435

(単位: 千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (2008年9月30日)	前連結会計年度に係る 要約連結貸借対照表 (2008年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,131,907	2,176,506
短期借入金	1,080,000	1,330,000
1年内返済予定長期借入金	36,996	36,996
未払法人税等	93,548	151,472
賞与引当金	279,985	225,974
役員賞与引当金	9,676	18,245
製品保証引当金	21,603	37,098
その他	877,093	890,365
流動負債合計	4,530,809	4,866,660
固定負債		
長期借入金	150,008	168,506
繰延税金負債	240,050	241,430
土地再評価に係る繰延税金負債	13,097	13,097
退職給付引当金	112,972	95,376
役員退職慰労引当金	17,124	22,473
長期未払金	25,303	32,783
固定負債合計	558,556	573,667
負債合計	5,089,366	5,440,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	891,385	891,385
資本剰余金	904,907	904,907
利益剰余金	8,378,282	8,127,912
自己株式	△126,904	△126,904
株主資本合計	10,047,670	9,797,300
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△134,707	△168,466
土地再評価差額金	△437,380	△437,380
為替換算調整勘定	△22,810	△4,481
評価・換算差額等合計	△594,898	△610,328
新株予約権	136	136
少数株主持分	—	—
純資産合計	9,452,908	9,187,107
負債純資産合計	14,542,274	14,627,435

## (2) 四半期連結損益計算書

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年9月30日)	
売上高	6,740,465
売上原価	3,648,486
売上総利益	3,091,979
販売費及び一般管理費	2,532,010
営業利益	559,968
営業外収益	
受取利息	17,185
受取配当金	16,176
為替差益	37,636
その他	12,351
営業外収益合計	83,351
営業外費用	
支払利息	11,484
貸倒損失	31,926
その他	1,427
営業外費用合計	44,838
経常利益	598,481
特別利益	
投資有価証券売却益	55,662
貸倒引当金戻入額	4,565
特別利益合計	60,228
特別損失	
固定資産除却損	295
投資有価証券評価損	168,037
投資有価証券売却損	10,365
投資有価証券償還損	6,552
特別損失合計	185,250
税金等調整前四半期純利益	473,458
法人税、住民税及び事業税	52,977
法人税等調整額	11,826
法人税等合計	64,804
四半期純利益	408,654

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自2008年4月1日至2008年9月30日)

(単位:千円)

	パチンコ	情報・通信	樹脂成形	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	4,041,925	2,223,097	421,147	54,295	6,740,465	—	6,740,465
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	7,020	7,020	(7,020)	—
計	4,041,925	2,223,097	421,147	61,315	6,747,485	(7,020)	6,740,465
営業利益又は営業損失(△)	733,718	130,709	81,436	△15,474	930,391	(370,422)	559,968

## (注) 1 事業区分の方法

事業は、製品系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

## 2 各事業の主な製品

- (1) パチンコ関連事業…………… パチンコ制御基板、パチンコホール内情報化システム  
(2) 情報・通信関連事業…………… デジタルコンシューマー機器、コンテンツ配信、モバイルデータトランスファー機器  
(3) 樹脂成形事業…………… 樹脂成形品  
(4) その他の事業…………… 金型、家庭用パッケージゲームソフト

## 【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自2008年4月1日至2008年9月30日)

(単位:千円)

	日 本	中 東	北 米	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,592,507	199,543	948,415	6,740,465	—	6,740,465
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	722,054	—	722,054	(722,054)	—
計	5,592,507	921,597	948,415	7,462,519	(722,054)	6,740,465
営業利益	421,746	301,605	77,793	801,145	(241,177)	559,968

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

## 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 中東……………イスラエル  
(2) 北米……………米国

## 【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自2008年4月1日至2008年9月30日)

(単位:千円)

	北米	その他	計
I 海外売上高	949,975	202,116	1,152,092
II 連結売上高	—	—	6,740,465
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)			17.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

## 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米……………米国  
(2) その他……………イスラエル等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 【参考】

(前中間連結損益計算書)

区分	前中間連結会計期間 (自 2007年4月1日 至 2007年9月30日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		4,280,988	100.0
II 売上原価		2,549,239	59.5
売上総利益		1,731,748	40.5
III 販売費及び一般管理費		1,658,166	38.8
営業利益		73,582	1.7
IV 営業外収益			
1 受取利息	12,967		
2 受取配当金	36,364		
3 為替差益	52,374		
4 受取立退料	21,000		
5 その他	6,999	129,706	3.0
V 営業外費用			
1 支払利息	5,382		
2 持分法による投資損失	16,500		
3 その他	73	21,955	0.5
経常利益		181,332	4.2
VI 特別利益			
1 投資有価証券売却益	8,445		
2 貸倒引当金戻入益	1,001		
3 持分変動利益	2,203	11,650	0.3
VII 特別損失			
1 固定資産除却損	35,173		
2 役員退職金	39,387		
3 役員退職慰労引当金繰入額	42,797	117,357	2.7
税金等調整前中間純利益		75,625	1.8
法人税、住民税及び事業税	14,811		
法人税等調整額	△70,252	△55,441	△1.3
中間純利益		131,066	3.1

(セグメント情報)

## 【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 2007年4月1日 至 2007年9月30日)

	パチンコ 関連事業 (千円)	情報・通信 関連事業 (千円)	樹脂成形 事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,684,845	921,200	576,525	98,416	4,280,988	—	4,280,988
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,684,845	921,200	576,525	98,416	4,280,988	—	4,280,988
営業費用	2,415,518	921,316	482,772	96,296	3,915,903	291,502	4,207,406
営業利益又は営業損失(△)	269,326	△115	93,753	2,119	365,084	(291,502)	73,582

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品・サービス

- (1) パチンコ関連事業……………パチンコ制御基板、パチンコホール内情報化システム
- (2) 情報・通信関連事業……………デジタルコンシューマー機器、コンテンツ配信
- (3) 樹脂成形事業……………樹脂成形品
- (4) その他の事業……………金型、家庭用パッケージゲームソフト

## 【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 2007年4月1日 至 2007年9月30日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

前中間連結会計期間 (自 2007年4月1日 至 2007年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。